

## 駆け抜けろ！ 早春の薩摩路 薩摩道路開通記念 第29回観音滝ジョギング大会



号砲を合図にスタートする参加者

3月15日、薩摩道路開通記念「第29回観音滝ジョギング大会」が開催されました。

この大会は、青少年の健全育成と町民の健康づくりを目的に開催されており、今回は、地域高規格道路「薩摩道路」（永野IC～さつま観音滝ICの区間）で実施されました。

当日は、町内外から533名が1km、3km、5kmのコースに参加し、真新しい薩摩道路を駆け抜けました。また、「宮之城轟太鼓同好会」の演奏も披露され、参加者から大きな拍手が送られました。

☆各コース1位（全体の男女別1位 敬称略）

・1kmコース	草ノ瀬 一番	2分58秒
（さつま町）		
・3kmコース	青山 佳代	3分36秒
（霧島市）		
・5kmコース	東條 和廣	8分49秒
（さつま町）		
・岸良 美周	10分6秒	
（さつま町）		
・5kmコース	永吉 正人	15分29秒
（鹿児島市）		
・松田 あかね	20分21秒	
（霧島市）		



中津川小学校児童による倭踊り

## 北薩横断道路 薩摩道路開通式典

鹿児島空港と北薩地域を結ぶ地域高規格道路「北薩横断道路」の一部となる「薩摩道路」のうち、永野IC～さつま観音滝IC間の約2・5kmが今回開通し、3月23日通り初め式及び開通式典が行われました。さつま観音滝ICで行われた通り初め式では、中津川小学校児童による倭踊りが披露され、関係者によるテープカット、くす玉開被があり、永野ICまで通り初めが行われました。その後、薩摩農村環境改善センターにおいて開通式典が行われ、工事経過の報告や恵光保育園園児による「こどもハンヤ節」が披露され集まった関係者らは、待ち望んでいた道路の開通を祝いました。

## 地域農業の担い手 あながわ営農組合設立

町内で3番目の特定農業団体が、3月15日あながわ地区に、39名の構成員で設立されました。

昨年設立された、地権者組織のあながわ地区農用地利用改善組合が、農作業を委託する組織として認めた組合です。

この組合は、農作業の受託及び共同化を通して、効率のかつ安定的な農業経営の実現と農用地の利用集積を図るとともに、法人化に向け、地域の担い手として発展する事を目的としています。

あながわ地区のスローガン「集落営農で資源を活かし、あながわに夢と笑いを！」の実現に向け、また一歩踏み出しました。



設立総会の様子

## 大きくなあれ！ 川内川稚アユ放流

3月25日、町内を流れる川内川本流・支流で稚アユの放流が行われました。

体長6cm～8cmの稚アユが川内川本流・六川・久富木川・泊野川へ約100kg放流されました。放流された稚アユは元気に泳ぎ回り、6月のアユ漁解禁までに大きく成長することです。

また、今回の放流は川内川漁業協同組合（代表理事組合長 田渕政春）が毎年実施している放流事業であり、来る6月7日には第3回川内川鮎まつりが湯田河川広場において開催されます。



漁協組合員に手伝わle放流する様子

## 春はやっぱり「たけのこ」

### 泊野観光 たけのこ園開園



たけのこ掘りを楽しむ家族

3月29日と4月5日、泊野観光たけのこ園が開園しました。このイベントは、泊野地区活性化委員会と泊野地区たけのこ生産振興会の主催で行われ、今年で17回目を迎えました。

今年は、福岡県から家族連れで参加されるなど、約130名が参加しました。林業集會場で説明を受けた後、各園ごとに分かれて地元の介添人の指導をもらいながら、不慣れな山鉾を使ってたけのこ掘りを楽しみました。

昼食では、地元女性グループが丹精込めて作った「たけのこ料理」を味わいながら、「みゃんじょ五ッ太鼓・雲母流」の演奏や、地元産の「きらら米」が当たる抽選会も行われ、大い

に盛り上がりました。

また、4月5日には、台湾のテレビ局による取材も行われ、たけのこ掘り体験やたけのこ料理に満足した様子でした。

### 少子化に朗報？

#### 18本のたけのこ！

白男川の北野利修さん宅の裏山では、なんと18本の子だくさんたけのこが姿を現しました。北野さんもたけのこ栽培指導を受けての4年目で初めての出来事にビックリ。



北野さんと掘りあげられた たけのこ

## 今年も見事な薄紫 イワツツジ山

鶴田区の上埜富雄さんが種から育て植栽した約5000本のイワツツジが、今年も見事に咲きました。

暖冬の影響で例年より10日ほど早く見ごろを迎えましたが、薄紫色に染まった山肌を見学に町内外から多く人が訪れました。

手作りの案内看板や休憩所など、上埜さんの心のもったおもてなしも相まって、訪れた人々は早春のゆつくりとしたひと時を楽しんでいました。



イワツツジ山を背に記念写真

また、鶴田区公民館では地域活動支援事業の一環として、上埜さんのイワツツジ山と近くの前川沿いに植えられた、すいせんを観ながらのウォーキング大会も行われ約60名が参加しました。



宣誓書を読上げる2人

### ようこそ！さつま町へ 転入教職員の集い

4月10日、本町の小・中学校に新しく赴任された47人の先生方を迎え、転入教職員の歓迎会と宣誓式が行われました。

歓迎会では、井上章三町長と濱田等議会議長のあいさつの後、地元産のお茶で乾杯し、たけのこなど郷土の素材をふんだんに使った料理で会食が行われました。先生方は、赴任された学校ごとに自己紹介をされ、さつま町の第一印象をそれぞれ話されました。

また、宣誓式では盈進小学校の牧みどり教諭と鶴田中学校の上谷川孝一事務主幹が宣誓書を読み上げ、決意を新たにされました。

## 薩摩中央高校 くにこ広場

4月15日、県立薩摩中央高校の生物生産科と農業工学科の生徒が丹精込めて作った農産物を販売するアンテナショップ『くにこ広場』が虎居町交差点近くの空き店舗にオープンしました。

午後2時からのオープニングセレモニーでは、同校の吹奏楽部の演奏もあり、通りには多くの人だかりができました。

今後は、6月まで毎週水曜日の午後2時から午後4時まで営業されます。

県内の農業系のある高校の加工品なども取り揃えてあります。



店頭看板の除幕式